

第二ステージ 第二小委員会 記録（要約）

日時：平成16年4月28日（水）

午後7時（全体会議後から）～9時

場所：会見町総合福祉センター会議室

第2小委員会：合併以降の住民参画を対象とする小委員会

提案内容の決定、又は決定までの公募・準備などの協議を行う。

提言項目	内 容
町民への情報提供	町民への情報提供を行う体制・内容等を提言
新町総合計画策定	総合計画策定に関する住民参画の方法を提言
校区の検討	小・中学校の校区の再編
行政評価システム	行政評価の方法等を提言
地域情報化	高速通信網の整備・利用形態の提言

（出席委員）秦 皎、秦野俊美、柴田由香、種 治孝、渡辺節男、野口節子、
畠 昭久、守屋啓子
岩田 惇、遠藤典男、岡田昭博、梅原勝郎、坂田憲昭、 計13名

1. 自己紹介

2. 司会者（座長） 秦 皎 委員

3. 会 議

今回は、フリートークとし、終了時間は9時とする。

次回からは、各論について討議したい。

今回は、5月10日 午後7時～ 会場は事務局一任とする。

（発言内容を提言項目に分類した）

町民への情報提供

- ・住民の安全、防災面での寒波時等の気象情報が欲しい。

新町総合計画策定

- ・総合計画策定に参画したい。
- ・町民に分かる内容と事業に優先順位が必要。一歩ずつ進む内容であって欲しい。

校区の検討

- ・中学校区の校区割りは、本人の希望にしてはどうか。

行政評価システム

- ・ 行政事務のチェック体制のあり方や必須業務を細分化した全面見直しが必要。

地域情報化

- ・ 議会中継等が放映されるため期待できる。(町民への情報提供にも関連)

上記以外項目での発言

- ・ 住民参画のあり方として、新町での周辺部の声を聞く仕組みづくりを話したい。先日、会見町区長会で視察した京都府美山町の例では、職員と権限を旧村に戻し、小さい意見を行政に反映させている。こんなことを話したい。

また、会見町の行事等は全町で推進しているが、西伯町は地区単位で行われている。やり方に違いがあり心配がある。

- ・ 西伯町運動会の例では、競技大会ではなく親睦が目的であり、現在は地区ごとに部落別対抗で実施している。
- ・ 会見町の場合、知らない者同士の運動会では面白くない。2つに分ける意見もある。

- ・ 両町の生涯教育支援内容に違いがあるようだ。低下しない方向にしたい。

- ・ 学校教育での住民参画を考えてみたい。
- ・ 教育のあり方や全体的レベルアップのため、住民参画の提言が必要。
- ・ 単町の教委よりも広域設置の教委が妥当。
- ・ 説明者を招いて、教育の現状を聞いてみてはどうか。
- ・ PTA 会長などの教育現場を知っている人が良い。

- ・ 提言すべき議論と行政要望を分けて、まとめることが必要でないか。
- ・ 提言する柱を決めて進めるべきだ。

司会：本日の発言内容を項目毎にまとめて整理してから、次回に備えたい。

今後、月二回程度開催したい。

第2回会議は、5月10日(月)午後7時から開催します。

閉会